



Profile・下関市出身。山陽小野田市埴生在住。2015年に神戸市から夫婦で移住し、1年間山口県立農業大学校で就学した後、1年間の「二井観光ブドウ園」での実地研修を経て、2018年に「ごろうのはたけ」として就農。「ごろう」は亡くなった愛犬。2019年に県の「やまぐち農林漁業ステキ女子」に登録。



▲ 10/18、宇部空港で「やまぐち農林漁業ステキ女子」としてマルシェに参加



▲ごろうのはたけの大粒ないちご

「きらりと光るまちの人」 SMILE UP!

Vol.59

今榮 綾香 さん

IMAEI AYAKA

育てたミニトマトといちごで笑顔を届ける

Q農業を始めたきっかけは？

A夫が農業に興味を持ったことです。色々な地域で新規就農を考えていましたが、山口県が新規就農者に対して間口が広いことを知り、私の出身地でもあることから山口県での新規就農を決めました。祖父母が住んでいたこともあり、山陽小野田市で農業を始めました。

Qどんな活動に取り組んでいますか？

Aミニトマト7品種といちご2品種を育てています。収穫した商品のほとんどは地域のスーパー等に卸していますが、地元や都市圏で行われるフェアやマルシェ等に出展し、直接販売することもあります。青果で販売できない物を県内の加工所で「ミニトマトジュース」に加工してもらう取組みもしています。

Q大変なことでやりがいを感じることは？

A天候や雨量によって変化する収穫量を調整することに苦労します。ミニトマトもいちごも育苗から収穫までの全ての工程が年に1回しかないので、毎年どのような工夫をしたかメモを取りながら、創意工夫を凝らしています。私たちが生産した商品を通してお客さんと触れ合えることが日々の糧になっています。

Qこれからの展望は？

A私たちが生産した商品の魅力をより広く知ってもらうため、加工品を増やし、直売所を作り、飲食店を開くことが今後の夢です。青果だけでは期限が限られるので加工品を通じて商品の魅力を伝えていきたいです。新規就農をした際、周りに頼れる人が少なく大変な経験をしたので、より山陽小野田市の新規就農者が増え、色々な意見交換をできる仲間が増えれば嬉しいです。

「みんなの笑顔」の写真を募集！



【応募方法】①写真（プリントしたものまたはデジタルデータ）②応募者の氏名（掲載はペンネームでも可）③作品名または15文字程度のコメント④応募者の連絡先（昼間連絡のとれる電話番号）

〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係（☎82-1148）



ペンネーム てるてるばあば
やんちゃな侑弦君 2歳おめでと♡



ペンネーム そうくん
掴まり立ち出来るようになったよ